

設立趣旨書

1 趣旨

近年、日本では不登校の児童・生徒数が増加し、小中学校における不登校児童・生徒数は過去最多を更新し続けています。特に地方では、学校以外の学びの選択肢や支援機関が限られており、支援を受けられず孤立してしまう家庭も少なくありません。

福岡県東部の京築地域においても、不登校や学びの多様化に対する理解が十分に進んでいるとは言えず、保護者自身が孤独を感じ、適切な情報や支援を得られずに悩みを抱え込むケースが多く見られます。

こうした現状を受け、私たちは2019年に「京築で不登校を語る親の会」として活動を開始し、保護者が安心して悩みを語り、同じ立場で交流できる場をつくることで、家庭の孤立を防ぎ、子どもたちの多様な生き方を支える環境づくりに取り組んできました。今後は、行政機関、教育機関、地域団体、企業、支援者など、子どもや家族を支えるさまざまな主体が交流し協力できる地域ネットワークを構築し、人・情報・地域資源をつなぐことで、多様な学びや社会参加の機会を広げていきます。

こうした活動の継続性と信頼性を高め、より多くの家庭や支援者とつながるためには、法人格の取得が必要不可欠です。私たちの活動は営利を目的とするものではなく、多様な生き方を求める子どもと家族が安心して過ごし、学び、地域とつながることのできる環境づくりを目的としています。特定非営利活動法人格を取得することで、助成金や寄付を受けやすくなり、安定した運営基盤を整えることができます。また、交流や相談支援の場の充実、子どもと家族の居場所づくり、地域ネットワーク及び支援体制の構築、普及啓発や情報提供などの活動をより発展させることが可能となります。これらの取り組みを通じて、誰もが孤立しない地域社会の実現に寄与することを目指します。

2 申請に至るまでの経過

- 2019年1月 任意団体「京築で不登校を語る親の会」を設立
- 2021年11月 任意団体「けいちくトイロ」に名称変更
- 2025年1月 特定非営利活動法人設立の検討を始める
- 2026年6月 設立総会を開催

2026年6月14日

特定非営利活動法人けいちくトイロ
設立代表者 氏名 潮見 志保